

# 情報検索サービス

## Information retrieval services

### 1. 所蔵目録データベース Kanazawa University online catalog

データベース	備考
金沢大学所蔵図書・雑誌所蔵目録 (OPAC)	Web
金沢大学所蔵古写本・版本データ・ベース	Web

### 2. ネットワーク対応データベース Online databases

データベース	備考
Books in Print on Disk	CD-ROM
Chemical Abstracts 12&13th Index	CD-ROM
判例マスター	CD-ROM
NACSIS-IR 機関別定額制	Web
ProQuest Medical Journal	Web
SwetScan	Web
朝日新聞 DNA	Web
医学中央雑誌 Web 版	Web
Ovid MEDLINE, EMBR, CINAHL	Web
ジャーナル・インデックス	Web

### 3. CD-ROM(スタンドアロン)データベース数 Databases on CD-ROM(Stand-alone)

	中央館	医学部分館	保健学科 図書室	工学部分館	薬学部 図書室	合計(全学)
所蔵点数	64	51	2	5	0	122

### 4. 電子ジャーナル Electronic journals

平成14年度は、以下の電子ジャーナルをパッケージで導入している。

名称	説明	タイトル数
Blackwell(SSH)	Blackwell 社提供の人文・社会科学関係の電子ジャーナル・パッケージ。	291
ProQuest	ProQuest Information and Learning 社提供の電子ジャーナル・パッケージ。臨床医学系商業誌を中心に各社の電子ジャーナルを集めている。	230
Science Direct Life Science Collection	Elsevier Science 社が提供するライフサイエンス系6分野の電子ジャーナル・パッケージ。	394
Springer Link	Springer 社提供の全分野の電子ジャーナル・パッケージ	433
NACSIS-ELS	国立情報学研究所提供の国内学協会の発行する雑誌についての全文データベース(機関別定額制に加入)	137

### 5. 情報検索機器 Equipments for searching

情報検索用として、パーソナルコンピュータを中央館に39台、医学部分館に19台、医学部保健学科図書室に3台、工学部分館に9台、薬学部図書室に5台設置しているほか、中央館及び各館に情報コンセントを設置している。

# 利用者教育・講習会

## User education and staff training

### 1. オリエンテーション Orientation

中央館では、利用者に対して様々なオリエンテーションや説明会を実施している。

名 称	内 容	実施時期
新入生オリエンテーション	新入生全員に対して、図書館のサービス、設備などの概略を紹介する。	4月
図 書 館 利 用 説 明 会	希望者に対して、館内ツアーを実施する。また、OPAC、CD-ROM 検索、インターネット検索などの方法を説明し、実習を行う。	4月～6月 10月～11月
図書館オリエンテーション	授業・ゼミ単位で希望に応じて、図書館のサービス、文献探索方法などを説明する。	随時

### 2. 総合科目の開講 Cultural subjects for students

平成10年度から附属図書館長をコーディネーターとした総合科目を開講し、学生の図書館情報活用を支援している。

年 度	講 義 名	コマ、単位
平成10	大学図書館と図書資料に親しむ	前期、2単位
平成11～15	大学図書館への招待 —みずから学ぶ、図書資料を楽しむ—	前期、2単位

履修登録者：平成10年度(71名)、11年度(79名)、12年度(73名)、13年度(78名)、14年度(66名)、15年度(64名)

### 3. 講習会 Staff training

国立情報学研究所(旧学術情報センター)と共催で、次の講習会を開催している。

名 称	内 容	参加組織
目 録 シ ス テ ム 地 域 講 習 会	全国規模の総合目録データベースを形成するシステムである NACSIS-CAT への入力作業に習熟するための講習会。	北陸地区の大学図書館等の職員。

実施年度(参加人数)：平成11年度(10名)、12年度(8名)、14年度(12名)



#### ●図書館利用説明会

検索機器への関心は高い。



#### ●総合科目

教官と図書館職員が授業を担当している。

# 図書館の公開

## Library services for the community

### 1．一般市民への公開 Open to citizens

附属図書館では、これまで調査及び研究を目的とする一般市民に対し、閲覧を中心に図書館サービスを提供してきたが、平成13年度から、石川県内に在住、または石川県に通勤・通学する市民及び卒業生、元教職員を対象に資料の館外貸出サービスを開始した。

このサービスは、市民の学習意欲や高度な知識欲に応えるもので、本学学生・教職員の教育研究活動に支障の無い範囲内で、専門的かつ高度な内容の資料を館外貸出し、更なる地域社会への貢献を高めている。

なお、平成14年度には、当館と石川県公共図書館協議会（43加盟館）との間で資料の相互貸借等の相互協力に関する覚書を締結、利用者の便宜を図っている。

#### サービス内容

利用できる資料	中央館及び分館に所蔵する図書・雑誌等
サービスの範囲	館内での閲覧、複写及びレファレンス・サービス資料の貸出（＊）
（＊）貸出できる資料	中央館・医学部分館に所蔵する貸出可の資料
利用できる時間	開館している時間内（12頁：開館時間を参照）

### 2．学外利用者数 Usage by citizens

	年度	他大学教官（人）	他大学学生（人）	一般市民（人）	合計（人）
中央館	平成13	133	217	333	683
	14	128	245	381	754
医学部分館	平成13	17	142	204	363
	14	48	188	294	530
保健学科 図書室	平成13	0	72	326	398
	14	0	33	229	262
工学部分館	平成13	4	20	46	70
	14	19	2	51	72
薬学部 図書室	平成13	4	5	19	28
	14	8	5	11	24
合計（全学）	平成13	158	456	928	1,542
	14	203	473	966	1,642

●中央館北玄関を彩るつつじの花（5月）



### 3. 公開講演会等 Lectures and symposium

#### ● 暁烏記念講演会

毎年、暁烏文庫の寄贈者暁烏敏（あけがらす はや）の功績をたたえる暁烏記念式において、記念講演会を開催している。

年 度	講 演 名	講 演 者
平成 9	いのちの水の流れゆくなり	中本 昌年
10	先達・暁烏敏と祖父・藤原鉄乗	藤原 正洋
11	寺院の文庫と海外流出資料	小峯 和明
12	近代仏教の「実験」一満之・顕明・恵猛	阿満 利麿
13	世界宗教と日本人の宗教観	田川 建三
14	暁烏敏の詩集『迷の跡』を巡って	松永 伍一
15	暁烏敏の意義	松田 章一

※11年度は講演とあわせて記念シンポジウム「仏教文学と文献利用」も開催された。

#### ● 金沢大学附属図書館シンポジウムおよび講演会

学術情報の専門家を招き、大学図書館について論じる公開シンポジウムや講演会を開催している。

年 度	テ ー マ	講演者・パネリスト（学外）
第1回シンポジウム （平成7年11月）	これからの大学図書館を考える	表 政直（石川県立図書館） 永田 治樹（図書館情報大学）
第2回シンポジウム （平成8年11月）	新しい情報環境と大学図書館	井上 如（学術情報センター） 小林 俊一（新潟大学） 谷口 敏夫（光華女子大学）
第3回シンポジウム （平成10年3月）	大学図書館活動に係る自己点検評価	渋谷 雅俊（慶応義塾大学） 大口勇次郎（お茶の水女子大学）
第4回シンポジウム （平成10年10月）	研究成果流通と大学図書館	内藤 衛亮（学術情報センター） 越塚 美加（学習院女子大学）
講 演 会 （平成12年12月）	大学改革と大学図書館のかかわり	北 克一 （大阪市立大学学術情報総合センター）
平成13年度シンポジウム （平成13年10月）	学術情報の流通とコンピュータ	中西 秀彦（中西印刷） 室井 尚（横浜国立大学）
平成14年度シンポジウム （平成14年11月）	これからの大学図書館のあり方	伊藤 義人（名古屋大学） 有川 節夫（九州大学） 岸本 衆志（石川県立図書館） 加藤 好郎（慶応義塾大学）

#### ● 暁烏記念講演会

記念式は平成15年度で54回を迎えた。



#### ● 大学図書館シンポジウム

平成14年度「これからの大学図書館のあり方」

# 図書館のシステム化 Computerization

## 1. 経緯 Brief history

昭和63.2	富士通 FACOM M730/4を新規導入
4	閲覧システム稼動
6	目録作成システム稼動
10	オンライン利用者用目録(OPAC)稼動。
平成3.11	富士通 FACOM M730/8に更新
4.4	図書館相互貸借システム(ILL)稼動。
5.1	雑誌受入システム稼動。
6.8	医学部分館でCD-ROMサーバ稼動
7.11	富士通 FACOM M730/10に更新
8.3	中央館でCD-ROMサーバ稼動。
9	Webサーバが稼動し、附属図書館のホームページを開設。
11.3	富士通 GRANPOWER5000 M380に更新し、業務用ソフトウェアにNTTデータ開発のNALIS-Bを導入。
4	図書受入システム稼動。
7	Webサーバ更新。
10	中央館にDHCP情報コンセント設置。
12.1	WebからILL依頼の受付を開始。
13.4	目次速報データベース・サーバ設置。
15.3	富士通 Primergy C200に更新し、業務用ソフトウェアにNTTデータの多言語対応版NALISを導入。Webからの図書購入依頼の受付、携帯電話からのサービスを開始。

## 2. 目録データベースの作成 Construction of catalog database

昭和63年6月からオンライン入力によりデータベース作成を開始した。また、業務電算以前の受け入れ図書を対象に、平成7年度から本格的な遡及入力を開始しており、第Ⅰ期計画(平成7～10年度)、第Ⅱ期計画(平成11～14年度)を終了した。全学蔵書159万冊のうち約85万冊が目録データベースに入力済となった。

## 3. 目録検索システム(OPAC) Online Public Access Catalog

昭和63年10月に稼動し、平成11年3月に業務用システムを更新することによりWeb上で公開している。平成15年3月の機種更新後は、多言語に対応し、画面上からの予約なども可能になった。

## 4. CD-ROMサーバ CD-ROM server

平成6年8月に医学部分館のMEDLINEデータベース検索用として稼動した。また平成8年3月には中央館でもサーバを導入し、平成10年3月に増設した。現在サービスしているデータベースは16ページの表のとおりであるが、Webベースのサービスに切り替えつつある。

## 5. 文献複写/借用依頼・図書購入依頼システム Online ordering system for ILL and books

平成11年10月からWeb上で利用者の文献複写、借用依頼の受付を始めている。平成15年度からは、Web上で図書購入依頼を行うことができるようシステムを改善した。

## 6 . 図書館システム構成図 Library information system

